

# 平成24年度事業報告書

社会福祉法人 八身福祉会

## 1. 法人事業活動状況

今年度は法人設立15周年を迎え、昨年8月に記念式典を開催した。市長をはじめ、取引企業など多くの関係者にご臨席いただき、長年に亘る協力への感謝をお伝えし、当法人の取り組みを広く周知できた。運営全体では、滋賀県の実地指導監査でも文書指摘となるような大きな問題はなかったが、人件費比率が86%を占める財政面は悪化しており、再建へ向けた取り組みが喫緊の課題となる。また、各事業共に定員が満杯となっている中でも多くの入所の打診を頂き、施設利用のニーズが増加・多様化する圏域課題に対応する事業展開が必要となっている。

就労支援事業では、最大の取引先であるタカタ(株)からの受注が震災での激減から回復し、夏季輪番停電も実施されなかったため、収入や利用者の通所日程も安定した。他の下請け作業では、昨年より取引を始めた(株)蓮葉(電子ジャー部品)と(株)アイアイがそれぞれ増収となった反面、滋賀HTからの受注が年度中頃から半分以下に落ち込んだ。印刷事業は収入微増となり、全体の利用者賞与も工賃の1ヵ月分を夏冬の2回支給することができた。

就労移行支援事業については、今年度4名(1名はB型)の就職を支援することができた。これまで4年で計13名が就職されたが、働き・暮らし応援センターの協力もあって一人のリタイアもなく定着している。今年度に就職された4名の内訳は、養護学校新卒が2名と一般企業からリタイアされた方が2名であるが、働く力は持っていても定着に課題のある方が多く、作業以前の就労働機や人との関わり方において多くの面談の時間を割いた。

給食の提供について、管理栄養士の急な休職申請によって調理を外部に委託することとなり、2社での見積もり合わせの結果、「一富士フードサービス株式会社」と1年契約を結んで2月から提供を開始した。

利用者の入退所については、4月より八日市養護学校から3名、信楽学園から1名、野洲養護学校から1名、年度途中から近江八幡市より2名、東近江市から1名が入所、計8名の内訳は、就労移行支援事業が5名と就労継続支援B型が3名。退所は2名で、病死と家族事情であった。

苦情相談については、内外の相談窓口から特段に問題視すべき案件はなかった。10月に施行された障害者虐待防止法についての外部研修に管理職全員が参加し、施設内でも職員学習会を開催して理解に努めた。施設長と仲間の会役員の懇談会を2回、家族会と職員の合同研修と懇談会を1回開催し、相互の理解と協力関係を築くことに努めた。

職員の異動においては、正職員3名の退職とパート職員1名の採用・退職があった。職員研修は、権利擁護(相談支援センター講師・家族会合同)、二次障害の学習(滋賀県リハビリテーションセンター講師)、障害者虐待防止法、利用者事例検討会(施設内部)の4回開催。

## 2. 理事会・評議員会 開催状況

任期満了に伴って理事・評議員の改選が行われた。理事では本多氏、監事では嶋村氏と馬野氏が退任され、上原氏が理事に、西田氏と高橋氏が監事にそれぞれ選出され、寺川理事長と杉山理事長代行が再任された。評議員では、池田氏、山田氏、伊藤氏、西田氏、本多氏が退任され、井田氏、蔭山氏、寺田氏、北中氏、渡辺氏が選任された。

理 事 会		評 議 員 会	
開催日	議 題	開催日	議 題
5月25日	平成23年度決算・事業報告	5月25日	平成23年度決算・事業報告
6月23日	次期評議員の選出について	6月23日	次期理事の選出について
6月26日	理事長及び理事長代行の選出	12月21日	第一次補正予算
8月2日	15周年記念式典について	3月29日	平成24年度予算、事業計画
12月27日	平成24年度第一次補正予算		
3月29日	平成25年度予算、事業計画		

## 3. 監事監査の実施状況

- ① 5月 14日 平成23年度 決算内部監査
- ② 7月 13日 平成23年度 指定障害福祉サービス事業者実地監査立会

## 4. その他

### ①法人設立15周年記念式典を開催

日時：平成24年8月25日（土）

場所：八日市ロイヤルホテル

来場者数：122人（利用者・職員含む）

### ②就労移行実績

株式会社 日本通運 野洲営業所…1名

株式会社 東洋アルミニウム…1名

株式会社 サニーリーフ…2名

### ③車両購入

印刷事業の営業・納品用の車両が老朽化で故障したため、同等の軽バンを購入

## 平成24年度事業報告書

社会福祉施設 八身共同印刷

## 1. 総括

就労移行支援事業については、3名の就職を支援することができた。中でも就労定着に課題のある利用者や、住居と職場が圏域を跨ぐ利用者を通じ、行政、社協、生活支援センター、働・暮センター等の多くの支援機関と連携することにより、役割分担と情報共有を以って就職後も本人を支え続ける関係作りに努めた。

就労継続B型支援事業では、炊飯器関連の作業と日常生活品関連の作業の受注が安定しており、比較的作業種類や工程が多いことや単独で完結する作業内容であることから、実習の受け入れや発達障害など多様な利用者が従事することができている。

## 2. 年間入所(利用者)数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
種別													
就労移行	6	6	6	7	6	6	6	7	5	5	5	3	68
継続B型	28	30	29	28	29	29	27	28	28	29	29	28	342
合計	34	36	35	35	35	35	33	35	33	34	34	31	410
入所者数	5	1					1						7
退所者数				1			1	1			2	1	6

## 3. 職種別職員数 (平成25年3月31日現在)

職種	施設長	サビ管	生活支援員	職業指導員	就労支援員	目標工賃達成指導員	栄養士	調理員	事務員	合計
形態										
常勤職員	0.5	2	2	2.62	0.87	1	0.5		1	10.49
パート等非常勤職員								0.24		0.24
嘱託										
合計	0.5	2	2	2.62	0.87	1	0.5	0.24	1	10.73

## 4. 年間行事实施内容

別紙のとおり

## 5. 職員研修、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

## 6. その他(建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等)

## 平成24年度事業報告書

社会福祉施設 八身ワークショップ

## 1. 総括

生活介護事業においては、軽作業を中心としてレクリエーションも取り入れ、看護師の配置や送迎サービスの支援によって通所は安定している。健康状態や行動上の課題など、ご家族との連携を以って支援に努めている。

就労継続B型事業においては、シートベルト作業の受注が昨年度の震災による激減から一定は回復したものの、下半期は売上高が6ヵ月連続で前月を下回る結果となった。利用定員が満杯となっていることや、集中力の持続や身体的な負担で作業の継続が難しい課題のある利用者など、事業全体として今後の在り方の検討が必要となっている。

## 2. 年間入所(利用者)数

月 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	129
継続B型	37	37	36	36	36	36	37	37	37	37	36	36	438
合計	47	48	47	47	47	47	48	48	48	48	46	46	567
入所者数	1												1
退所者数													

## 3. 職種別職員数 (平成25年3月31日現在)

職種 形態	施設 長	サ ビ 管	生活 支援 員	職業 指導 員	就労 支援 員	目標工 賃達成 指導員	医 師	看 護 師	栄 養 士	調 理 員	事 務 員	合 計
常勤職員	0.5	2	3.87	2		1			0.5			9.87
パート等 非常勤職員			1	2			0.02	0.3		0.24		3.56
嘱託												
合計	0.5	2	4.87	4		1	0.02	0.3	0.5	0.24		13.43

## 4. 年間行事实施内容

別紙のとおり

## 5. 職員研修、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

## 6. その他(建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等)

## 年間行事等実施報告書

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		理事会・評議員会	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月			21	余暇活動(お出掛け)							22	理事会
5月	19	日帰り旅行									24	理事会・評議員会
6月			16	余暇活動		研修家族会と合同研修 「自立を支える制度とサービス」	13	防災訓練				
7月			1	余暇活動(スポーツ)								
8月	25	15周年記念式典				夏季休暇学習課題						
9月					8	二次障害について			14	健康診断(全員)	15	理事会・評議員会
10月	6	ふれあい祭り									19	理事会
11月			17	余暇活動(お出掛け)	3	障害者虐待防止法 サングループ事件について	14	防災訓練				
12月	1	日帰り旅行	22	余暇活動(クリスマス会)							21	評議員会
1月			12	新年会	26	事例検討会議					27	理事会
2月			9	余暇活動	23	総括会議						
3月			2	余暇活動(カラオケ)	23	方針会議					21	理事・評議員会

日 課 ・ 週 間 計 画

時間 曜日	時																								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月																									
火																									
水										作業		作業		昼食 休憩		作業		作業							
木																									
金																									
土																									
日																									
備 考	午前中の 9:55 ~ 10:10、午後からの 14:50 ~ 15:05 の各 15 分間は休憩時間 土曜日については、月 1 回程度の余暇活動をまたは施設行事を実施。 施設行事の内訳として、八身ふれあいまつり・親睦研修旅行・新年会を実施。																								

※ 施設における標準的な日課を記入する(給食、入浴、リハビリテーション、作業訓練、クラブ活動等)